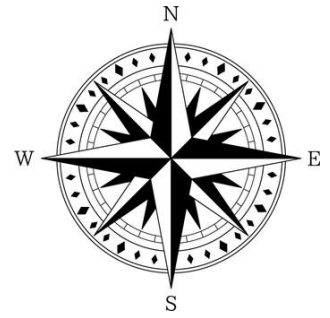


らしんばん

羅針盤



R4. 9 進路課だよりNo6 文責：中野

～PTA 進路学習会が行われました～

9月22日（木）にPTA 進路対策委員主催の進路学習会を行いました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として密を避け、会場の人数を制限しての開催となりました。

今年度は、NPO 法人「ぴゅあ」の天野誠理事長、西澤浩子副理事長、和田わか子理事を講師にお迎えして、NPO 法人「ぴゅあ」として活動を開始した経緯や重症心身障がい者対応の生活介護事業所「ぴいーす」を開設した思いや行政や福祉とのつながりなどについてお話いただきました。

NPO 法人「ぴゅあ」は、静岡市駿河区にあり、静岡県立中央特別支援学校に通う障がい児のための児童くらぶ「あおぞら」の保護者会から子供たちの将来について考えていこうという声上がり、2011年から活動を始めたそうです。その後、出前講座や重症心身障がい児・等者等フレンドシップ講座、ぴゅあママカフェなどの地域での活動を通して、様々な人脈や数十回に及ぶ行政との陳情などを通して、2020年に学校卒業後も安心して生き生きと過ごせる居場所づくりをしたいと考えて生活介護事業所「ぴいーす」が開設されました。

講演では、「なぜ、当事者は困っているのに、新しい生活介護事業所ができないのか」「藤枝特別支援学校卒業後の進路先は、足りているのでしょうか」など、ドキッとする言葉が多くありました。

また、福祉事業者や行政と話し合いをする際には、施設数に対してどれだけの人が通えていないのかなどを数値化し、先々まで見通した具体的な根拠が必要であること、個人で訴えずに大きくて歴史がある団体として意見をすることが信頼されることなどが重要だそうです。

行動を起こすことの大切さや人との縁など、経験したからこそその貴重な言葉をご自身と重ね合わせて考えた方が多くいらっしゃいました。

～当日の様子～



進路学習会 保護者の感想

卒業後の進路について、もしかしたら我が子に合う施設が見つからないのかもしれない。

施設数が不足している。お話を伺って、うんうん、と納得することばかりでした。

静岡市での活動について苦労したことをいくつか伺い、私たちの住んでいる地域では、どうなのだろうと考えました。

まだまだ課題は山積みだと思うのですが、どうしていくとよいのか、一歩ずつ進めていくしかないのだと改めて感じました。

進路学習会 保護者の感想

親の力で立ち上げ、素敵な施設を運営されていることに驚き、感動しました。お子さんが小さい頃から活動されていて、その積み重ねが現在につながっているのだと思いました。

施設の紹介では、それぞれに合わせた形態の食事の準備、カラオケを楽しむ様子や地域の方を招いての販売、そのお金をお給料として渡したというお話がありました。「どんな人も心豊かに生きることができる」という理念の下、保護者の力でこんなこともできるんだという勇気をいただきました。

～藤枝市に就労継続支援 A 型事業所「はるの樹」ができました～

作業内容は、お弁当作業（弁当調理、盛り付けなど）、事務作業（データ入力、確認作業など）、軽作業（チラシ折り、備品整理など）ですが、そのほか利用者に合う仕事を提案し、自分に合った仕事を探すことができます。

お弁当の盛り付け作業が主な事業所ですが、未経験の方でも安心して働けるように特性に合わせてサポートしてくれるスタッフがいます。

見学も可能だということですので、どんなところが興味を持たれた方は見学希望用紙を提出してください。日替わり弁当のメニュー、どれもおいしそうでした。



《事業者情報》

住所 藤枝市駅前3丁目14-1
TEL 054-625-9682